



同窓会だより

校訓
けいしん あいち
敬心 愛知
けんし りょっこう
堅志 力行

会長挨拶

『4期目のご挨拶』

同窓会会長 戸野 法史(23回生)

この度、役員選考委員会から再任を認めるという諮問を受け、引き続き会長を務めることになりました。2019年に平田前会長の後任として同窓会総会で承認していただいてから今年で7年目を迎えることになりました。よろしくお願いいたします。



さて、母校の同窓会の現状ですが、会員数は年々増加しており、規模的には拡大していますが、コロナ禍もあり2020年以降の3年間は同窓会活動を縮小せざるを得ませんでした。東京オリンピックが1年延期されたのと同じく、創立100周年記念式典を1年延期して開催できたのは一筋の光明でした。2023年に新型コロナウイルスが5類に移行し、徐々に日常生活を取り戻してくるなかで3度の同窓会総会・懇親会を開催しました。

総会・懇親会準備の中心となる当番幹事は、開催年度中に51歳になる回生と(今年度は44回生)その前後10年毎の回生(24・34・54・64回生)の皆さんにお願いしています。当番幹事会を重ね会員の皆様をお迎えする準備が整い始めると、安堵するとともに当番幹事の皆さんに感謝することも多くなりました。同窓会には責任感と協調性を備えた同窓生が揃っています。

母校は喫緊の節目として、2030年に創立110周年を迎えます。同窓会の活動と人事は表裏一体であると感じていますので、人事が刷新され新しい発想で創立110周年をリードしていただく方が良いと思っています。

そのためのために、準備を始めておくことが私の当面の役割だと思いますので、皆さまにはご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長挨拶

「伸学校」

伸びる学校・伸ばす学校・三原高校

校長 福本 洋二

三原高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご清栄にてご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。平素より皆様には、物心両面にわたり、温かいご支援をいただいております。生徒並びに教職員を代表し、改めて感謝申し上げます。



本校は今年、105年の歴史を刻み、地域に根差した教育、また、グローバルな視点を持った志の高い生徒の育成を進めてまいりました。この伝統を支えてこられたのは、同窓生お一人おひとりの母校への深いご愛顧とご尽力によるものです。

令和7年度も生徒たちは学業や部活動に励み、それぞれの夢や目標に向かって日々努力を重ねています。伝統を尊重しつつ時代の変化に対応するべく取組も進めております。

学ランやセーラー服と一昨年度から取り入れた、ブレザースタイル、選べるネクタイやリボン等の制服については、生徒が自ら選択することで大切に着こなすという気持ちが生まれているように感じしております。

タイ王国への海外修学旅行は今年度も継続して実施いたします。生徒が世界の多様性や異文化を直接体験することは、生徒の価値観を揺さぶるよい機会となります。また、アジアのパワーや現地の言葉だけでなく英語や日本語が扱える現地高校生に触れ、学びに対する刺激をもらえると考えております。

校訓「敬心愛知 堅志力行」のもと、「伸びる学校・伸ばす学校・三原高校」を教育目標に掲げ、さらに本校が発展するよう教育活動に取り組んでまいります。今年度、特に次の3点について重点的に取り組んでいきます。

1 安全で安心な学びの空間づくり

この基盤があつてこそ、自分の考えを積極的に述べたり、自分の夢にチャレンジしたりできると考えています。

2 深い学び、楽しい学び

深く学び本質的な理解ができるよう取り組んでいきます。

3 社会に開かれた教育課程の実現

総合的な探究の時間（名称：堅志学）と教科の学習の往還を進め教科横断的な真正の学びに取り組めます。三原市をフィールドに実践的な学びや探究的な学びを展開し、地域と共にみらいを創る生徒の育成に努めてまいります。

引き続き、ご支援とご理解をお願いいたします。

教頭挨拶

「よろしくお願いします！」

教 頭 森川 裕子

今年度、尾道東高校から参りました、森川裕子（もりかわ ひろこ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

三原高校に赴任して感じたことを少し述べたいと思います。普段の生徒たちは活気があって、校内は楽しげな声であふれています。ひとたび授業や集会の場面になると、静かに集中して話を聞いたり考えたりしています。メリハリがあり、人としていろいろ関わっていきたくと思わせるものを生徒たちからは感じています。伝統校ではあるが、その伝統という枠の中に納まるのではなく、未来に向かって挑戦していこうとするエネルギーを感じています。

日々の業務の中で校内を移動していると、各教室には校訓「敬心愛知 堅志力行」が掲げられているのを目にします。生徒たちも3年間の学校生活の中で毎日校訓を目にし、態度や行動として浸透している様子がうかがえます。三原高校は100年を超える歴史ある学校です。校訓も学校とともにその歴史を歩んできたものだと思っていたところ、この「同窓会だより」第14号を拝読し、まだ20数年しかたっていないことを知り驚きました。と同時に、このことは私が三原高校で感じていることを表しているような気がしました。伝統校として歴史は積み重ねていく。しかし、新しいことも取り入れ常に進化していくことを恐れない。三原高校の生徒であることに

誇りを持ち、将来に向けて努力を重ね挑戦し切り開いていく、そのような思いが生徒たちから伝わってきます。

三原高校の歴史の中のほんの数年ではありますが、次の時代へつなげる大事な時間を生徒たちと一緒にあって繋いでいきたいと思っています。

生徒の活躍

体操部 中国大会出場!!

令和7年度に入り、新入部員男子1名・女子4名を迎えて総勢男子2名、女子10名でスタートしました。

4月26日（土）に尾三地総体が行われ、3年生の清水俊臣君が個人総合位に入賞しました。6月7日（土）・8日（日）広島県立総合体育館で県総体が行われ、同選手が中国大会の出場権を獲得することができました。若干ミスはありましたが、他の種目の完成度が素晴らしく、結果につながったのだと感じました。

中国大会は6月20日（金）～22日（日）

島根県浜田市の島根県立体育館竹本正男アリーナで行われました。今年は学校行事とも重ならず、何も心配することなく思う存分試合に専念することができました。移動の道中や待ち時間ではイメージトレーニングを含めた練習で時間を無駄にすることなく、徐々に試合に向けて意識を高めていきました。

第1種目目は跳馬からスタートし、軽やかな助走から前方倒立回転跳びの着地をまとめました。続く平行棒・鉄棒では大車輪をはじめとした大技を成功させ、最後のつり輪では力技の十字懸垂で力強さを表現しました。試合当日は大舞台ということもあり緊張感も見受けられました。しかし、落ち着いて演技をし、怪我なくミスなく3年間の集大成として最後までやり通すことができました。試合終了後は、お互いに声を掛け合って励まし合いながら一緒に班で試合を行った他校の選手とも握手を交わし、充実した試合になりました。

入学した時は何もできなかった生徒が大舞台に立って様々な技を繰り出す、まさに継続は力なりを体



現したものとなりました。

また、体操部は3年連続中国大会に出場させていただきました。これもひとえに歴史と伝統を引き継いでくださった先人の積み重ねや周囲の方々の応援のおかげだと思っております。全体操部員は高校始めの初心者ですが、少しずつ歩みを進めて来年度も日々精進していくことを決意します。



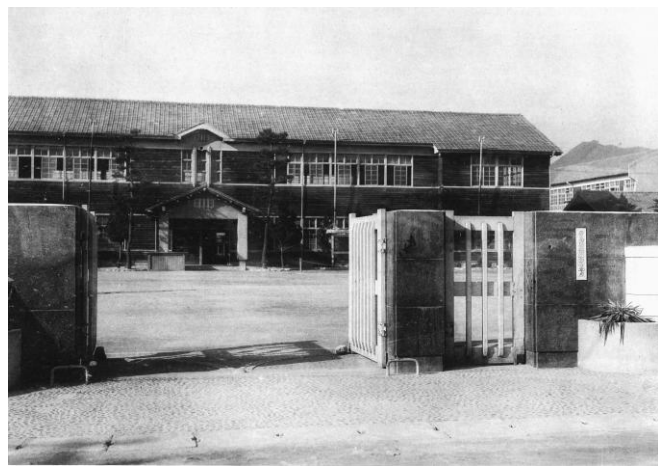
母 校 の 風 景

～ 懐かしの学び舎 ～

昭和24年4月30日、浮城高校、桜南高校、明善高校の3校が統合され三原高校が誕生しました。誕生当初は現在の宮沖の校舎を主にしましたが、教室の数や女子トイレなど設備が足りず桜南高校の校舎もその後しばらく使用され、館町校舎と呼ばれました。宮沖校舎と館町校舎の両方で授業をする先生方もいらしたようです。その先生方曰く、「宮沖は生徒たちが荒っぽいが、館町の生徒たちは優しい。」二つの校舎の雰囲気はずいぶん違っていたようです。

翌年4月、館町の生徒たちも宮沖に移り、次々と教室や女子トイレなどの施設が完成し、昭和27年6月21日、校舎落成式が行われました。

正門を入ると正面に本館、左に講堂（体育館）があり、右手には後に図書館が建てられました。



昭和40年頃、短期間ですが正面玄関に向かって並木道のある時代がありました。



本館の左に丸屋根の体育館が見えます。昭和37年6月30日に完成しました。ここで体操部をはじめ、多くの生徒たちがスポーツに励み活躍しました。



この体育館は昭和60年、現在の体育館が完成後は格技場となりました。

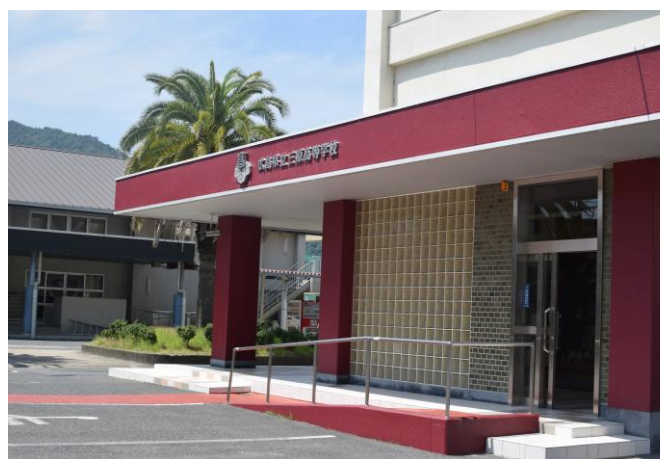
昭和42年から本館（100号館）をはじめ現在の200号館、300号館の新築工事が順次行われました。昭和49年10月に3棟の工事が完了しました。



その後、リフレッシュ工事など多くの工事を経て、現在に至ります。



【PTAによる「朝の挨拶運動」の光景】



現在の正面玄関です。スクールカラーの「臙脂（えんじ）」を基調としたデザインに変わりました。

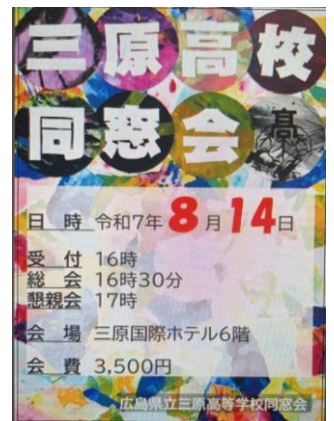
左奥は現在の格技場「敬心館（けいしんかん）」です。平成27年に完成しました。体育の格技の授業だけでなく、バドミントン部の練習場としても活用されています。三原高校創立90周年記念事業で同窓会から寄付したトレーニング機器が設置され、生徒たちの体力向上、運動部の筋力トレーニングなどに活用されています。

「敬心館」の名前は、校訓「敬心愛知 堅志力行」に由来します。第24代藤井睦史校長が命名されました。



創立90周年で寄贈した校訓の石碑（左）と創立100周年記念事業で整備した庭園（右）です。

書芸部・美術部の生徒の皆さんが、今回の同窓会総会・懇親会のポスターを作成してくれました！



編集・発行

広島県立三原高等学校同窓会

〒723-0016 広島県三原市宮沖4-11

TEL：0848-62-2151（三原高校内）

